

# 2023年度 定時総会開催

2023年6月1日(木) 15:00~16:50 ホテルニューオータニ「鳳凰の間」

2023年度定時総会は、会場出席とリモート出席を合わせ、約300名の会員の皆様に出席いただきました。下記事項について諮り、すべての議案が原案の通り可決されました。

## 決議事項

- 第1号議案 2022年度活動報告について
- 第2号議案 2022年度収支決算について
- 第3号議案 2023年度活動計画について
- 第4号議案 2023年度収支予算について
- 第5号議案 定款の変更について
- 第6号議案 経理規定その他の一部変更について
- 第7号議案 会員の異動及び役員の変更について

## 報告事項

- ・専務理事の募集について
- ・定例会議等の開催日程について



## 【2023年度活動計画 要旨】

### ◆ 最重点課題：有事における国民的危機への対応

- 感染症だけでなくあらゆる有事に対応できる司令塔機能の実現を目指す
- 軍事侵攻などに代表される外交安全保障上の地政学的リスクに関する調査研究を進め、あらゆる有事に対応する司令塔機能の実現を目指す
- 今後高確率で発生するといわれる大規模災害に焦点を当て、調査・研究を進める
- 今秋に新設される「内閣感染症危機管理統括庁」の機能の監視を行う
- 各省庁官僚を対象とした危機管理及びリスクコミュニケーションに関する教育システムの確立や、疫学・公衆衛生学の専門家育成など、政官へのアクションを行う

### ◆ 重点課題：国家財政の見える化の実現に向けて



#### 堀口座長より

- 提言の発出と国民の意識喚起に注力する
- 「3カ年複数年度予算制度」の導入と「独立財政機関」の設立を目指し、政府中枢へ提言を行う
- 国民に対して「財政の自分事化」を促す大規模なシンポジウムを開催する

◀キリンビール株式会社 堀口代表取締役社長

### ◆ 重点課題：生活者としての外国人の受入れ体制の構築に向けて



#### 浜田座長より

- 国に対する提言活動と、会員をより巻き込んだ共生社会醸成への活動を進める
- 不就学・日本語教育支援等の実態把握の後、実効性のある対策を検討していく
- 外国人労働者の受入れ環境整備に関する提言の浸透を図っていく
- 外国人材受入れの体制構築に向け、省庁横断型機関設立を検討する
- 国民の意識喚起のために、引き続き基本指針の採択・賛同を広げていく

▲株式会社ニッスイ 浜田代表取締役社長  
執行役員 最高経営責任者(CEO)

◆ 重点課題：エネルギー・原発問題の国民的議論に向けて



村田座長より

- 2024年に第7次エネ基が策定される予定のため、政府への発信を見据えた情報収集を行う
- 国民へ向けた情報発信や直接交流の場の強化を行う
- 中立的立場で、原発ファクトの収集・整理を行い、必要に応じて「原発ファクト集」を改訂する

◀株式会社高島屋 村田代表取締役社長

◆ 重点課題：災害支援スキームの構築

- 生団連内外へ向けた防災意識啓発と大規模災害を見据えた支援体制を構築する
- 防災意識の啓発・生団連の取り組みを広めるため、イベントの開催や外部イベントへの出展を行う
- サプライチェーン全体での支援体制構築のため、協力企業・団体との連携を強化するとともに、メーカー・卸売・小売・物流・支援団体等各業種からメンバーを集めた分科会を発足する

◆ 重点課題：ジェンダー主流化

- 企業でのジェンダー主流化の問題への取り組みは最優先事項と考え、企業内での課題について整理していく
- 企業におけるジェンダー平等の推進に向けて、企業参加型分科会を年間通して取り組む
- 企業内におけるジェンダー平等を阻む論点の研究をする
- 3月8日「国際女性デー」の活動を継続して行い、ジェンダー主流化に対する国民への意識喚起を行う

◆ 研究課題

- プラスチック問題…………… 勉強会を定期的に開催し、学ぶ機会や外部団体との交流の場を設ける
- 食料安全保障・食品ロス削減…「もったいないゼロプロジェクト」の展開、各自治体との連携強化を行う  
地域生団連においても地域課題として今後議論していく
- 安全保障・憲法問題…………… ファクトに基づいた調査・研究を進め、重点課題に関連した憲法についても理解を深める
- 気候変動…………… 気候変動に関するファクト収集を行い、研究・論点整理を行う

◆ 地域生団連

- 埼玉生団連  
食品ロスの問題について引き続き議論を重ねるべく、秋頃に会合を開催する予定
- 大阪生団連  
災害・外国人・財政について引き続き議論を重ねる  
大阪は2025年に万博を開催するが、経産省より女性活躍推進館の相談を受けている大阪生団連として地域の消費者団体や女性団体の声を拾い上げて届けていきたい
- 北海道生団連  
食料安全保障について引き続き議論を重ねる



▲会場参加の会員様からもご意見・ご質問をいただき、大変活発な会となりました。